

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年11月10日(2005.11.10)

【公開番号】特開2000-304931(P2000-304931A)

【公開日】平成12年11月2日(2000.11.2)

【出願番号】特願2000-6772(P2000-6772)

【国際特許分類第7版】

G 0 2 B 5/30

G 0 2 F 1/13363

【F I】

G 0 2 B 5/30

G 0 2 F 1/13363

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月26日(2005.9.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0034】

ディスコティック液晶性分子の円盤面と透明支持体面との平均傾斜角が5°未満の状態
でディスコティック液晶性分子を配向させるためには、ディスコティック液晶性分子と相
分離できる化合物を一定の範囲の量で使用することが好ましい。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

ディスコティック液晶性分子と相分離できる化合物には、含フッ素界面活性剤および1
, 3, 5 - トリアジン環を有する化合物が含まれる。